

(参考様式5)

平成21年度元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
三重県	菟野町	前田地区	H18～H20	H18～H19

1 施策ごとの評価

(1)ソフト

ア 施策の内容:

イ 施策の実績

(コメント)

--

ウ 施策の効果

(コメント)

--

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2)ハード

ア 施策の内容:

イ 施策等の実績

(ア)実施計画達成状況

(以下の様式を参考にして記述する。なお、事項欄には、地域計画に掲げた指標を設定するに当たり、施設等の種類ごとに実施計画を設定している場合、また、地域計画に掲げた指標以外に数値目標がある場合、それらを記述すること。)

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
基盤整備促進	農業生産施設整備	農業用用水施設	菟野町	菟野町土地改良区
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
L=3.6km	H18	H19	H20年4月1日	

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (20年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
農業用用水施設の機能確保	ha	0	14.1	14.1	100	

調査年次における実績が計画未達である場合の理由及び改善策(目標年度の報告において達成状況が著しく低い場合は、要領の第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。)

--

(イ) 施設等の利用実績

施設等名()

年次	室名	事項	計画	月別利用実績												利用率	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		計
		利用人数															
		利用日数															
		延べ利用室数															

- (注) 1 事項欄には、地域計画とともに作成した利用計画において使用した指標を記述する。
 2 調査年度における実績が計画未達である場合は、下段に理由及び改善策について記述すること。
 3 目標年度の報告において実績が計画を大幅に下回る場合は、第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。
 4 備考欄には、利用計画、利用実績それぞれの算出根拠を記載すること。
 5 都市農村交流を目的とする施設の場合は、「月別利用実績」欄の実績計の横に()書きで都市農村交流に関する実績を内数で記入し、利用率の算出は()書きの値を使用する。

ウ 施策の効果

(コメント)

農業用水施設を整備したことにより、安定した用水の供給確保ができ、また維持管理の軽減により農業経営の生産性が向上できた。

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	農業用水施設の機能確保	14.1ha	14.1ha	100%	
地域	遊休農地なしの現状維持	0ha	0ha	100%	
	担い手への農地利用集積率	5%	8%	160%	

(コメント) ※目標が未達成となった指標については、その理由を記載

すべての指標の項目について、達成された。

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)

整備前の用水施設は、漏水等が多く、また維持管理に労力を費やしていたが、整備されたことにより安定した用水供給ができ、さらに維持管理が軽減され、農業経営の生産性が向上した。また、用水の安定供給や維持管理の軽減により、遊休農地(耕作放棄地)の防止ができた。

4 総合評価

(コメント)

今後、農業経営の高齢化が進み、生産性の減少及び耕作放棄地の発生が危惧されている中で、用水路施設を整備することにより、安定した用水確保ができ生産性の向上はもとより、維持管理に費やす労力や費用の軽減によって遊休農地(耕作放棄地)の発生を防ぐことができた。また、用水施設を整備することにより、今後の担い手への農業経営にも期待ができる。

(都道府県の意見)

(コメント)

農業経営者の高齢化及び耕作放棄地の発生が危惧される中、農業用用水施設の整備された結果、維持管理労力の軽減及び安定的な用水供給の確保により農業生産性の向上が図られた。このことから、本計画は前田地区の活性化に寄与したものであり、今後、担い手への農地集積にも期待ができるものである。

